

金日成主席が収めた業績

マドリード・チュチェ思想研究会会員

ロレンソ・ラミレス

朝鮮は「乙巳五条約」の捏造によって、40年間、日本帝国主義の支配下にありました。朝鮮人民は3.1人民蜂起や多様な義兵活動のように、日本侵略者に反対する闘争を数多く展開しました。しかし、勝利をもたらす上で決定的な意義をもつのは、1932年の朝鮮人民革命軍創建であります。

朝鮮人民革命軍は創建以来、朝鮮を解放する時まで力強く戦いました。

解放後、1945年に朝鮮人民は、新しい朝鮮を建設しなければなりませんでした。しかし北緯38度線を境界にして、ソ連とアメリカの間に「責任地域」が生じるようになりました。その時アメリカは、朝鮮にたいする侵略を合法化しました。

金日成主席は、朝鮮にたいする侵略に反対し、朝鮮人民の闘争は、アメリカ帝国主義侵略軍が朝鮮半島に足を踏み入れた瞬間から始まりました。

これは一つの侵略者が他の侵略者に代わっただけのことであり、さらにアメリカ帝国主義は日本帝国主義よりもっと悪辣でありました。

1948年には反逆者李承晩が権力の座につきました。李承晩は、犬が飼い主に追従するように、常にアメリカの懐で奔走しました。アメリカ人は、彼を「大韓民国」の権力の座に就かせました。

朝鮮に反対する反共分子李承晩の実際の軍事的侵略行為が始まりました。西側では「朝鮮戦争」と知られており、朝鮮では祖国解放戦争と呼ばれている戦争が起きました。

戦争での勝利は、金日成主席の指導のもとに、朝鮮人民と人民軍隊が収めたものでした。戦争後、朝鮮人民は、アメリカ帝国主義の野蛮さによって廃墟になった国を復旧し、3大革命を遂行しました。

朝鮮では文化革命を施し、朝鮮語に残っていた英語、日本語の残滓を一掃し、漢字を廃止するなど、固有の朝鮮語を発展させました。

朝鮮では、短時間に文盲を完全に退治し、文盲者がたった一人もいなくなりました。

これらはすべて、金日成主席の賢明な指導を離れては考えられません。